様式第3号）

企業・団体名（　信州林業　株式会社　）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	1
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用条件において差別のない体制の構築・運用をしている。また、女性活躍推進のため「一般事業主行動計画」済。計画遵守に努めていく。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則にセクハラ・パワハラ等のハラスメントの禁止と相談体制を明記している。 【予定】ハラスメント相談担当者設置し、相談しやすい体制を整備していく。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	工事日報により時間外管理を行い、社長が社員一人一人の労働時間の把握し、必要に応じて個別に面談を行っている。労働生産性向上させるために、現場責任者と社長が協議し、人員体制の変更を適宜行っている。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】今後外国人労働者の際には、日本人同等の処遇、労働環境で対応する予定。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	ISO45001：2018の認証を受け運用している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	安全衛生計画書のもと、心の健康づくり計画の策定、ストレスチェック、研修、個人面談等実施している。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	定年は65歳だか、本人が希望した場合70歳まで延長している。 「一般事業主行動計画」のもと、多様な人材（女性）が活躍できる労働環境を整えている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	職務に応じた資格取得・研修受講を積極的に推奨している。費用は全額会社負担。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	【予定】同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っていく予定。					5.5			8.5		10.2 10.3							
0		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康経営優良法人（経済産業省）2023を取得している。健保組合に「健康づくりチャレンジ宣言」を行っている。			3					8									
1	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	ISO14001：2015の認証を受け運用している。											11.6	12.4		14.1			
2		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	自社のエネルギーの使用量を把握し、抑制に取り組んでいる。【予定】自社の二酸化炭素排出量を把握する予定。							7.3						13				
3		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】自社の温室効果ガス排出量を測定する予定。							7.2 7.3					12.4	13.3				
4		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	ISO14001：2015の運用のもと、化学物質を購入する際には当該製品のSDSを取り寄せ、その情報をもとに化学物質のリスクアセスメントを作成している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
5		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	ISO14001：2015の運用のもと、油の流出の管理を徹底して行い、環境保全に取り組んでいる。						6.6									15		

6		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	ながのエコサークルゴールド・ランク（平成28年3月23日）に認定済。 産業廃棄物の分別を徹底している。 支障木を薪やバイオマス発電の燃料として再利用している。												12.5		14.1			
7		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	工事現場では、適切な汚泥処理のもと水資源を再利用している。 運営しているキャンプ場では、地下水の利用状況を把握し、水資源の利用効率の改善に役立てている。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	1
8			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001:2015の認証を受け運用している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
9		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】ホームページ上で環境活動を開示する予定。												12.6					
0		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	解体工事による木材をバイオマス発電所や地域の温浴施設の燃料として積極的に持ち込んでいる。							7.2						13				
1		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	再生アスファルト合材、再生プラスチック杭等を使用している。 非合法材を使用していないこと確認している。												12.2	13	14	15		
2	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に汚職･贈収賄の禁止を明記し、社内浸透を図っている。																16 16.5	
3		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為に関与しない方針を整備し、社内に周知を図っている。																16	
4		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	現場のデータは社内RANでの管理、パスワードの設定をし、適切に取り扱っている。								8.2 8.3	9								
5		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報含む情報管理は、パスワードを設定し管理者のみ閲覧できるシステムを構築している。																16	
6		☑	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
7		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先との人権侵害防止、ハラスメントや汚職･贈収賄防止のための確認活動を行っている。「一般事業主行動計画」に基づき、事業パートナーと共に、女性活躍の推進を図っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	1
8	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	工事や成果品の規格値を満たすために、リスクの洗い出しと対策を実施している。			3.9									12.4					
9			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	使用する資材は使用承認願いで確認し、プロセスを決めて品質管理をしている。									9								
0		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	公共工事以外でも廃プラスチック擬木や、再生アスファルト合材、再生プラスチック杭の利用を推奨している。 ながのエコ･サークルのゴールドランク認定済。						6						12	13	14	15		
1		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	100%再生紙を使用し環境負荷低減を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	1

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	1
2	地域貢献・社会貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	冬季は長野市の除雪･融雪事業を行っている。 消防団協力事業所（長野市）に登録されている。 技術系高校生のインターンシップ受入れを行っている。				4					9		11	12		14	15		1
3			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	自社で所有するトラックを利用し、小学校の資源回収のボランティア活動を行っている。 長野市消防団協力事業所に登録されている。 信州環境美化活動に参加している。				4							11			14	15		1
4			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	長野県産の木材を積極的に使用している。								8	9		11	12	13				
5	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念、経営目標、労働安全衛生方針、環境方針を明文化し、社員に説明、共有している。								8	9								1
6		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	ISO14001、ISO45001の運用により法令を確実に遵守する仕組みを構築している。																16	
7		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	ISO14001、ISO45001の運用により、環境管理責任者、安全衛生管理責任者を選任し、体制を整備している。																16	
8		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	株主総会を通じて、株主との関係を密にしている。 ISO14001、ISO45001の運用により、ステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。																16	1
9		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ISO14001、ISO45001の運用により、リスクを特定、評価、マネジメントする仕組みを構築している。																16	
0		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	ISO14001、ISO45001の運用により、「リスク及び機会」を特定、評価し、責任を持った対応をしている。 消防団協力事業所に登録されている。																16	
1		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事業継続計画の策定。									9		11		13 13.1			16	
2		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補がおり、現在経験を積ませながら検討を進めている。								8	9								1

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	1
□																			
□																			

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）